



【感染症だより】

～水痘について～

水痘とは「みずぼうそう」のことですが、水痘・帯状疱疹ウイルス（varicella zoster virus: VZV）というウイルスに感染することで発症します。大流行ではありませんでしたが、5月は福生市内の小学校で学級閉鎖がなされました。VZVの感染力はとても強く、空気感染します。潜伏期は2-3週間程度で、特徴的な赤みを伴った水疱がみられ、発熱することもあります。数日にわたって新しい発疹が次々に出て、すべての発疹が痂皮化（かさぶたになる）まで1週間程度かかります。すべての発疹が痂皮化すれば、登園・登校が可能となります。小児期は通常は軽症で、一度感染すれば終生免疫が得られますが、年齢が増すに従って重症化します。重症例では、肺炎や脳炎で死亡することもあります。通常、自然治癒しますが、抗ウイルス薬があり治療可能です。接触から72時間以内に水痘ワクチンを接種すると、軽症化が可能と言われています。ウイルスは一度罹ったとしても、60歳ごろになると抵抗力が落ちてきて、体内に潜伏していたVZVが再活性化し、帯状疱疹として再発することがあります。

予防には水痘ワクチンがあり、1歳以上で接種可能です。平成26年10月から、1歳児を対象に定期予防接種（3-6ヵ月あけて2回接種）が始まりましたが、それ以前の年齢の方は任意接種となっています。

文責： 清水マリ子

表：6月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	103
2	溶連菌	12
3	水ぼうそう	9
4	突発性発疹	4
5	手足口病	3
5	肺炎	3
7	おたふくかぜ	2
7	ヘルパンギーナ	2
9	インフルエンザA	1
9	インフルエンザB	1
9	アデノウイルス扁桃炎	1

★病児保育室あんずからのお知らせ★

平成29年4月から保育室の利用枠が4から6名へ拡大しました。新年度ご利用の際は、申込用紙のほかに、登録書が必要となります。お手数ですが、昨年度ご利用いただいた方もご記入をお願い致します。ご利用当日来室時でも大丈夫です。



しみず小児科・内科クリニック